

市教育大綱を改定

「教育先進都市『いわき』の実現に向けて」

市では、本年二月に「市教育大綱」を改定しました。改定は、市長と教育委員会とで構成する「市総合教育会議」において議論を重ねながら、取りまとめました。今後は、同大綱に基づき、より一層の教育・子育て環境の充実に向けていくと、教育先進都市「いわき」の実現に向け、取り組みを進めていきます。

改定の背景と観点

平成二十八年二月に策定

市教育大綱の概要

基本理念

地域全体で人を育て、誇れるまち「いわき」をつくる。

基本目標

- 1 未来に夢を持ち、ふるさとを支え、日本を支え、世界に飛躍する人づくり
- 2 市民がいつでも、どこでも、生涯にわたって学び、生かすことができる仕組みづくり
- 3 文化やスポーツに親しみ、健康で、心豊かな人生を送ることができる環境づくり



施策の柱と施策の方向性

I 個性を生かした学校教育の推進	①新しい時代を切り拓くために必要な力の育成 ②学校の教育指導体制の充実 ③学校教育環境の充実 ④学校と地域の連携・協働の推進 ⑤学びのセーフティネットの充実
II 生涯を通じた学習活動の推進	①「学び」を支える土壌づくり ②「学び」を育む機会の充実 ③「学び」を生かす人財の育成 ④「学び」を結ぶネットワークの構築
III 確かな人間力を育む幼児教育の充実	①安心して子どもを産み育てられる環境の整備 ②生きる力の基礎を育む教育の推進 ③家庭、地域、教育・保育施設等の連携の強化 ④幼児教育全体の質の向上と人財の確保・育成
IV 生涯にわたるスポーツライフの実現	①生涯スポーツ・競技スポーツの推進 ②子どもの体力・運動能力の向上 ③スポーツ団体・指導者の育成 ④スポーツ活動を支える基盤の充実 ⑤スポーツを通じた地域の活性化
V 地域に根ざした市民文化の継承と創造	①芸術文化の振興 ②歴史文化遺産の保存と活用 ③地域の歴史・文化を学び生かす機会の創出

新型コロナウイルスワクチン接種のお知らせ



○お問い合わせ
市新型コロナウイルス感染症対策本部
ワクチン接種担当 ☎27-8610

新型コロナウイルス感染症の発症を予防し、死亡者や重傷者の発生をできる限り減らすため、新型コロナウイルスワクチン（以下「ワクチン」）接種を実施します。

市では、速やかにワクチン接種が可能となるよう国・県と連携し、接種体制の構築を進めています。今後、ワクチン接種に関する情報は、決まり次第、市ホームページなどで順次お知らせしていきます。

ワクチン接種の基本情報

○接種順位

- ①医療従事者など
 - ②65歳以上の高齢者（来年3月31日までに65歳に達する方を含む）
 - ③基礎疾患がある方、高齢者施設などに従事する方
 - ④①～③以外の一般の方
- ※①については勤務先を通じてお知らせがあります。

○接種場所

原則、住民登録がある市町村に所在する医療機関など

○接種回数／接種費用

1人2回（見込み）／無料

○ワクチン接種までの流れ

- 1 対象者へ接種券（3月中旬以降に発送予定）を送付



- 2 予約

・電話またはインターネットにより受け付け

- 3 接種

・接種券と本人確認書類を持参



※接種場所など詳しくは、接種券に同封のチラシをご覧ください。3月10日(水)開設予定のコールセンター（☎30-9000）へお問い合わせください。

新型コロナウイルスワクチン接種体制の確保に係る補正予算を専決処分

1月26日、新型コロナウイルスワクチンの接種に向けた体制を緊急に整備するため、一般会計で総額3億4,289万1千円に上る補正予算を計上し、緊急を要する経費であることから、市長による専決処分を行いました。

○補正予算の内容

- ▶予防接種台帳システム等の改修費=1,079万円
- ▶接種券の印刷・郵送準備費=7,028万7千円
- ▶相談体制（コールセンター）設置等委託料=1億833万円
- ▶その他関係諸経費=1億5,348万4千円

特別養護老人ホームとの地域共生社会の実現に関する連携協定を締結

市は、1月28日に、福島県老人福祉施設協議会特養部会いわき支部と同協定を締結しました。

同協定に基づき、成年後見制度などに関する相談窓口を拡充・整備することにより、課題解決に努めます。また、成年後見制度の普及・啓発や相談支援体制の確立、成年後見人などの活動支援、市民後見人の育成について相互に連携して取り組んでいきます。



市内の全27カ所の特別養護老人ホームと協力し相談体制を強化

令和2年度市農林業賞表彰

＝年齢は2月5日現在。敬称略＝

○個人・団体の部

- ▶いわき小名浜菜園株式会社＝小名浜住吉
環境に配慮した適切なトマトの栽培管理等に取り組むなど、本市農業の振興に貢献しました。
- ▶阿部安政(70)＝三和町下市萱
林業における作業効率と生産性の向上を図るとともに、林業後継者等の育成などに貢献しました。

○青年の部

- ▶坂本和徳(46)＝山田町
環境負荷の低減や安全・安心な農作物の供給に努め、農業後継者の育成などに貢献しました。
- ▶小泉昌男(41)＝常磐白鳥町
農地の集積・集約を積極的に進めるほか、地産地消の推進など、本市農業の振興に貢献しました。

した前大綱の基本理念や基本目標などは、継承することを基本としています。加速化する人口減少や高齢化、社会状況の変化、子どもをめぐる環境変化などを踏まえ「教育の質を高める」「学びの機会を広げる」といった観点から、必要な見直しを行いました。

生きるための学び直し、児童虐待の防止や貧困対策の強化、スポーツを通じた健康づくりや地域づくり、地域文化の新たな魅力の創造や情報発信による交流人口の拡大などの各種取り組みについて追加しました。

○お問い合わせ
政策企画課
企画調整係
☎22-7410

3月25日(木)

東京2020オリンピック聖火リレーがスタート

東京2020オリンピック聖火リレーは、3月25日(木)にJヴィレッジをスタートし、121日間をかけて全国を回ります。本市では初日にいわき陸上競技場からいわき芸術文化交流館アリオス前までの約5キロメートルのコースで聖火リレーが実施されます。


コースや交通規制、注意事項などについてお知らせします。

凡例

♂ 推奨迂回ルート

— 聖火コース

※聖火リレーやセレモニー、交通規制は予告なく変更となる場合があります。聖火リレー・交通規制については詳しくは、コールセンター(☎024-983-9415)へお問い合わせいただくか、情報サイト「ふくしまプラス2020」をご覧ください。セレモニーについては詳しくは、同課へお問い合わせください。



ゴール (13:20ごろ)
いわき芸術文化交流館アリオス前

スタート (正午ごろ)
いわき陸上競技場

規制予定時間

A	11:20 ~ 12:40
B	12:00 ~ 12:55
C	12:10 ~ 13:10
D	12:20 ~ 13:10
E	12:25 ~ 13:20
F	12:35 ~ 13:50

セレモニー会場臨時駐車場

駐車場	駐車台数
平第三小学校	約250台
平第五小学校	約250台

※セレモニー会場へ車の乗り入れはできません。同駐車場以外への無断・路上駐車はおやめください。同駐車場にはできる限り乗り合わせでお越しください。

○お問い合わせ
スポーツ振興課東京オリンピック・パラリンピック担当 ☎22-7032

ゆったり館は、市民の皆さんの健康増進のための拠点施設です。誰もが運動しやすい施設となるよう、クアハウスの施設や利用料金の見直しを行いました。

ゆったり館クアハウスが変わります

4月1日(木)から利用料金が変わります

- 1回の利用料金を700円に値下げ
- 20回券、100回券を導入(1回当たり、20回券は100円・100回券は200円お得)
- 年間・半年利用券、11回券を廃止(廃止前に購入した券は4月以降も利用可能)

クアハウスを紹介

25mプール



水泳・歩行・フリーコースから自由に選んで利用できます。

トレーニングルーム



専属トレーナーが常駐し、新たに女性専用トレーニングルームを整備しました。

温泉(水着浴・裸浴室)



半身・全身浴や気泡浴など、さまざまな浴槽があります。

エクササイズフロア



ヨガやストレッチなどの運動を自由に行えるスペースで、1室増設予定です。

○お問い合わせ
保健福祉課保健福祉係
☎22-7451
ゆったり館
☎43-0801

注意事項

- 当日は大規模な交通規制により渋滞が予想されますので、できるだけ公共交通機関を利用してください
- 歩行者や自転車もコース上の横断はできません
- 観覧の際は「マスクの着用」「大声を出さない」「距離を取る」などの新型コロナウイルス感染防止対策を徹底し、体調不良の場合には観覧をご遠慮ください

当日のスケジュール(予定)

- スタートセレモニー
 - ▶時間 11時ごろ～正午ごろ
 - ▶ところ いわき陸上競技場
- 聖火リレー
 - ▶時間 正午ごろ～13時20分ごろ
 - ▶ところ いわき陸上競技場～市立美術館前～いわき芸術文化交流館アリオス前
- ゴールセレモニー
 - ▶時間 13時20分ごろ～14時30分ごろ
 - ▶ところ いわき芸術文化交流館アリオス前

スマートライフ推進に関する連携協定を締結

市は、1月13日に、豊島株式会社と同協定を締結しました。

同協定に基づき、本市におけるスマートライフの推進を図るほか、同社の「スマートウェア」等の先端技術を活用した健康増進事業を行うなど、健康・生活課題に取り組むことで、市民の皆さんの豊かな暮らしの実現を目指します。



豊島株式会社 進に関する連携協定締結式
相互の資源を活用した地域創生の実現に向けて協定を締結

災害時の協力に関する協定を締結

市は、2月5日に、東北電力ネットワーク株式会社いわき電力センターと同協定を締結しました。

同協定に基づき、災害発生に伴う大規模停電が起こった際には、被害状況の早期把握のための情報共有を行うほか、災害情報の収集・伝達を行う窓口となるリエゾン(情報連絡員)を市へ派遣するなど、連携して電力設備の早期復旧に取り組みます。停電発生時、電力設備の迅速かつ円滑な復旧を図るため協定を締結

